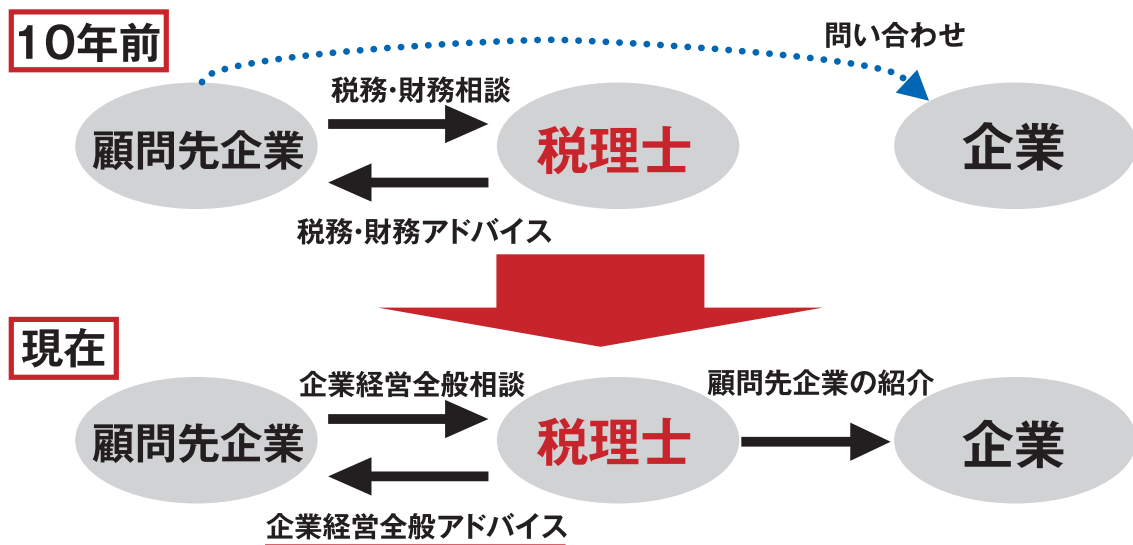


# 隠れた巨大マーケットである「税理士業界」とは

## 「税理士業界」???

ひと昔前、税理士といえば企業の記帳代行・税務申告が主たる業務でした。しかし、今は違います。「より効率的に利益を出したい」と考える経営者、そして「顧問先企業に少しでも多くの利益を残せたら」と考える税理士、両者の思いが十数年の時を経て税理士の業務を変革させました。すなわち「経営全般をアドバイスするコンサルティング業務」への変革です。今や税理士は企業経営者にとって決して外すことのできない「企業参謀」なのです。

実際、この事実注目し新規参入を考えている企業は数多くあり、現在、数多くのクライアント様から税理士新聞への広告掲載をいただいております。



## 【中小企業の情報源は税理士である事実】

中小企業庁が発表した「会社法施行の中小企業に与える影響に係る実態調査・結果概要」では、中小企業の情報源の41%は税理士であり、中小企業の経営に関して顧問税理士のアドバイスが大きい役割を占めています。

近年、企業経営者が様々な問題を税理士に相談するケースが多くなっています。なぜなら、税理士は企業の財布の中身(企業資産)を一番理解しているからだと言われています。

税理士が受ける相談内容は多岐にわたり、例えば経営の相談、システム(基幹業務、会計、IT等)の購買、金融商品、企業研修など様々です。

税理士がその企業の製品サービス等を認知している場合と、していない場合により、成約率が全く違うのは言うまでもありません。

## 【税理士データ】(平成20年1月末日現在 エヌピー通信社調べ)

税理士事務所数	約30,000件
登録税理士数は	71,096名
税理士の平均年収	約3,000万円
顧問先	約175件

**3万件 × 175件 = 525万件**

**ここが隠れた巨大マーケット「税理士業界」と言われる所以です!!**